平成 21 年度・第 2 回班長会議議事録

特例民法法人　岐阜県臨床検査技師会

日時　　平成 21 年 10 月 21 日（水）　18：30～20：30

場所　　岐阜市藪田南 3-5-10　技師会事務所

出席者　永井・近藤・兼子・浅野（裕）・森・渡邊・八木・日比・牛丸・横山

　　　　10 名

委任状　浅野（敦）なし

1. 副会長・部長・新研究班長　挨拶。
2. 副会長より、臨時総会後の中間報告や常務理事会の内容について報告。
   今後の部門別研究班研修会については技師会負担のない研修会を企画するか、縮小してゆく。岐阜県臨床検査技師会の学術誌について今年度は中止とする。県学会については実施する予定で検討中。来年度の春季・秋季拡大研修会については白紙の状態。
   来年度の中部地区研究班研修会（岐阜地区担当）については現在該当研究班はなし。
3. 部門別研究班研修会について 11 月 1 日より原則参加費を徴収することで、班長に領収書を配布した。班長より講師料などがいらない研修会や技師会負担がない研修会については無料での研修会にしたいと要望があった。
   特例として新人技師についは、今年度の入会を条件に技師長や班長の承諾を得た参加者については会員扱いとする。
4. 今年度の部門別研修班研修会活動費については予算として 20 万準備されている予定でしたが、今年度の支払いが未払いで一部の班長については自己負担で支払いをしている状況です。決算書も常務理事会で承認されていますし、今後の活動も支障が出ますので少しでも支払いをして頂きたいと強い要望がありました。
   参加費徴収で黒字の場合は岐臨技返納にするのか？可能であれば自分の研究班の未払いに使用するか、学術で黒字を管理して他の研修会未払いに使用出来るようにしたい。
5. 精度管理報告会について、一部の班長より部門別研修班研修会の中で報告会の内容も含めた研修会にすることで、今年度については全体での報告会は中止することも 1 つの案ではないかという意見があった。
6. 第 59 回日本医学検査学会が和歌山県主催で 5 月 22 日 23 日に神戸国際会議場で開催されますが、微生物・臨床化学・生理・情報システムについて座長候補者の推薦依頼がありましたので 11 月 10 日までに事務所に FAX するよう班長に依頼した。
7. 新班長について、学術カレンダーの説明や JAMT の登録手順などを説明した。

署名人 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 印

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 印